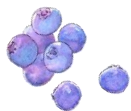


Vol.02 梅の部屋

in ASAKURA

泥にまみれて



こんにちは。今月も更新させて頂くこととなりまして。ちらほら「読んだよ」とお話を聞き、恥ずかしいやら嬉しいやら…。

さて朝倉では、先日三連水車も回りだしあちらこちらで田植えがされていますね。かくいう私も先日松末地区の田植えに参加させて頂きました。

子どもの頃以来の体験で、とてもわくわくしながらいざ参加。

やはり子どもの体力と大人の体力は全然違いますね。以前した時は楽しいばかりでしたが、田植えを進めるにつれ腰が…(笑)

ただ、田植えをしているうちに今はほとんど機械のところばかりですが、以前はこうやって田植えをしていたんだなとふと思ひ、お米を作って下さる方に対する尊敬の気持ちと有難いなあという思いがわいてきました。

朝倉にやって来る子ども達にも、農業体験を通してこういう思いを感じ取ってほしいものですね。

ただ、子どもの場合きつと「楽しい！」という気持ちが行先すると思うので、そこらへんはこちらの頑張り次第ですが(笑)

また、田植えの際には松末地区のコミュニティ会長さんのお話もありました。

拡声器も使わず力強いお声で3年前の九州北部豪雨で、多くの田んぼが氾濫した川からの土砂で埋め尽くされた松末地区の現状や復興に対する思いをお話してください、子ども達にも朝倉に来て災害の及ぼす影響を学んでもらえればと改めて思いました。



筋肉痛はまだ翌日に
やってきます。

うめ

まさかのご登場



大体毎年5月には、修学旅行で多くの子ども達が朝倉にやって来るのですが、今年は新型コロナウイルスの流行の影響もあり全て中止・延期に…。

本当ならその時の様子や出来事を、今回掲載しようと思っていたんですが残念ながらできないので、今回は以前来てくれた子どものお話をしようかと。

子ども達が農泊に来る際にいくつかルールがありまして、その中の一つに「お土産をもらって帰らない」というものがあります。これは「お土産をもらった子」「もらえなかった子」等の差別等が無いようにあるんですが、前回来た子ども達も例にもれず先生達に何も持って帰らないように言われていました。

ですが最終日、農泊家庭から会場に集まってきていた子ども達の点呼を取っている私のもとに、一人の男の子が近づき物凄くいい笑顔で言ってきました。

「このカニもって帰っていいですか!？」

手にあるものを見ると容器の中に、大きなカニが5、6匹うごごごとひしめきあっていました。笑

まさかの登場に驚きつつも話を聞くと、朝から泊まったお宅の近くにある川で捕ってきたようです。どうしたものかと思ひながらも弾けんばかりの男の子の笑顔とその子を見守る受入家庭の方の温かい笑顔を見ると何も言えず…。

「先生に聞いてみて!」と、先生に丸投げ笑

その後、受入家庭の方がカニを持っていなかったのだで、おそらく彼はカニと一緒に帰っていったのだと思います…(笑)

そんなちょっとしたハプニングもありつつ、楽しみながら活動させてもらっています。

次回もこんなお話を載せようと思うので、お暇があれば是非読んでみてください。

では、また次回!

